

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年2月末日
中間配当金受領株主確定日	毎年8月31日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	株式会社アイ・アールジャパン
同連絡先	株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部 〒107-8666 東京都港区北青山一丁目2番3号 TEL.0120-975-960(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所第一部市場
公告方法	電子公告

当社ホームページ(<http://www.ait-jp.com/>)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ご注意

1. 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(株式会社アイ・アールジャパン)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部でお支払いいたします。



ホームページのご案内
サービス情報・IR情報など、
最新の情報をご覧ください。



エーアイティー 検索

<http://www.ait-jp.com/>

表紙の風景 |
天津湾広場(中国・天津市)

天津市中心部に位置する天津駅近くの『天津湾広場』の風景です。表紙の建物は、旧天津フランス租界地域内に立ちヨーロッパ風に建築されています。また金融街のモデル区域で、劇場、映画館、高級レストランなど様々な施設があり、夜にはライトアップされ、観光地としても賑わいを見せております。



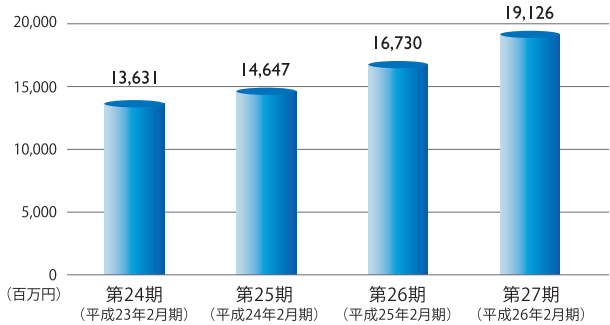
株式会社 エーアイティー
証券コード:9381

国際物流をデザインするエーアイティー

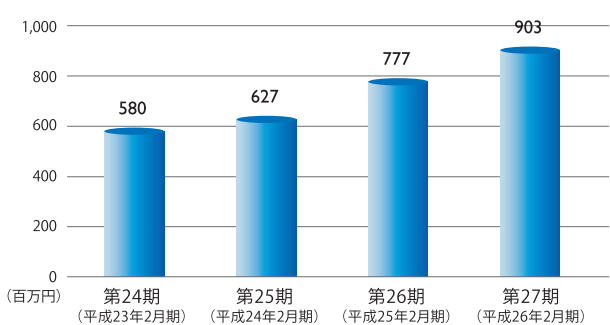
第27期年次報告書

平成25年3月1日から平成26年2月28日

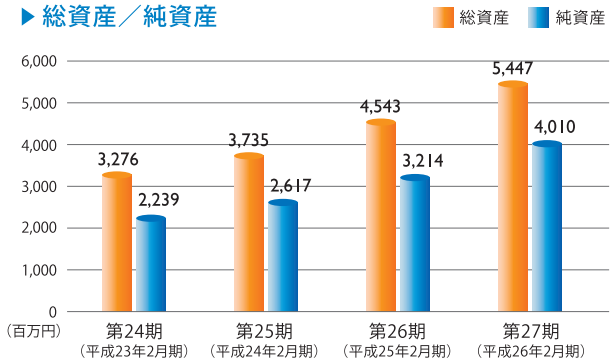
▶ 営業収益



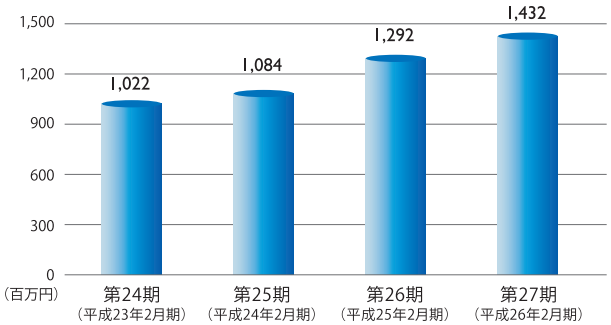
▶ 当期純利益



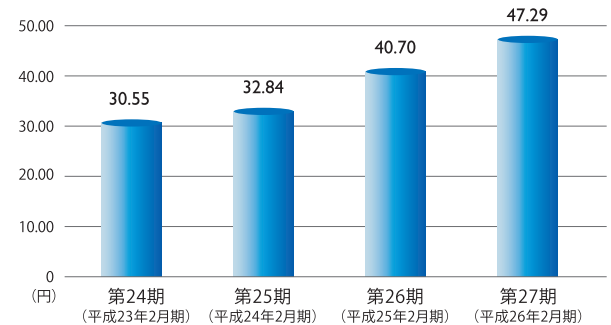
▶ 総資産／純資産



▶ 経常利益

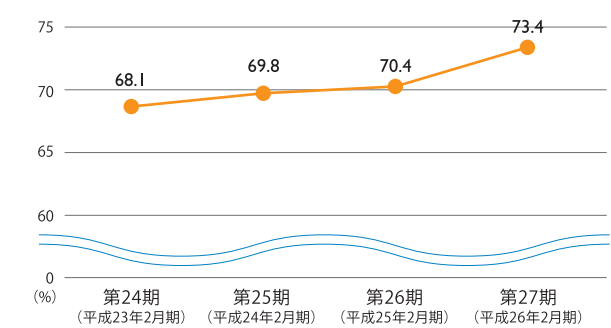


▶ 1株当たり当期純利益



（注）平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にて、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第24期（平成23年2月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

▶ 自己資本比率



株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第27期（平成26年2月期）の業績と今後の見通しについてご報告を申し上げます。

[代表取締役] 矢倉 英一
President | Hidekazu Yagura



第27期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策により、円安と株高が進行し、緩やかな個人消費の復調と共に、景気回復が期待される中で推移しました。一方で世界経済は、比較的堅調な米国経済と中国を始めとした新興国の減速経済が重なって、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、一貫した国際物流の提案型営業を一段と強化し、得意とする海上輸送の新規顧客の獲得を図ると共に、通関受注の増強及び日本国内や海外での3PL（サードパーティー・ロジスティクス）案件の獲得に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の営業収益は19,126百万円（前年同期比14.3％増）、営業利益1,387百万円（前年同期比8.6％増）、経常利益1,432百万円（前年同期比10.8％増）、当期純利益903百万円（前年同期比16.2％増）となり、通関などの受注の拡大効果と円安による為替換算効果も相まって、いずれも増収増益を達成することができました。

今後の見通しについて

次期の見通しにつきまして、わが国経済は、消費増税後の不透明感が残るものの、景気回復への確かな手ごたえが持てる状況で推移し、また世界経済は、好調な米国経済と安定成長路線の中国経済に期待感がもて、総じて緩やかな成長が実感できる状況と予想しております。

日中間の海上輸送におきましては、コンテナ船社の値上げ圧力とフォワーダー間の競争激化などで予断を許さない環境が続くものと考えております。

このような状況下、当社グループは日本企業への一貫輸送の提案を更に強化し、営業社員の採用活動に注力しながら、通関業務における人材の充実とロジスティクス課の拡充などを図ってまいります。

以上の状況を踏まえた上で、次期の連結業績は、営業収益21,836百万円（前年同期比14.2％増）、営業利益1,455百万円（前年同期比4.9％増）、経常利益1,473百万円（前年同期比2.9％増）、当期純利益978百万円（前年同期比8.3％増）を見込んでおります。

今後とも役職員一同、企業価値の向上に邁進していきたいと存じますので、引き続き、温かいご支援ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

事業概要とその特徴

国際貨物輸送業（フォワーディング業）

フォワーダーとは

荷主から貨物を集荷し、他の業者の輸送手段（船舶、航空、貨物自動車など）を利用し、国際貨物輸送を行う業者（利用運送業）を言います。

エアイティーの特徴

エアイティーは日本にとって一番の貿易相手国の中国、さらに東南アジアに強いフォワーダーとして、**一貫輸送体制**による幅広い輸送手段の中から、お客様にとって常に最善・最適の物流を提案できるのが特徴です。



通関業

通関業とは

外国の貨物を輸入・輸出する際、税関に輸入・輸出申告が必要で、日本の場合、関税・消費税の納税額計算や、輸出入の許可を得る手続きが必要です。これら「通関手続き」は本来、輸出入者本人が行うべきものですが、複雑で専門知識を必要とする為、専門の業者が代行して行います。

エアイティーの特徴

エアイティーはこの通関業の許認可を取得しているため、荷主様に代わって専門的で複雑な通関業務を代行することができ、荷主様の業務の大幅削減が可能になります。



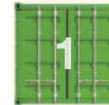
サードパーティー・ロジスティクス業（3PL業）

サードパーティー・ロジスティクス（3PL）とは

ノウハウを有する第三者（サードパーティー）が荷主様からの物流のアウトソーシングに応じて、集荷・配送・運送・倉庫保管管理などを総合的に受託し、遂行することを言います。

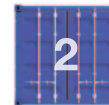
エアイティーの特徴

エアイティーとして、お客様個々の与件にあった物流改革を提案し、物流業務を**トータルサポート**いたします。



物流コンサルティングサービス

「現場調査」をもとに「改善提案」を通じて「新物流構築」をしてまいります。



SCM構築サービス

海外ネットワークの活用、輸配送業務の請負等、**SCM構築**を提案いたします。

SCM（サプライチェーン・マネジメント）とは

生産地から最終消費地に至る一連の商品供給の流れを「供給のチェーン」ととらえて、統合的に物流システムを構築し、経営の効率化を図ることを言います。

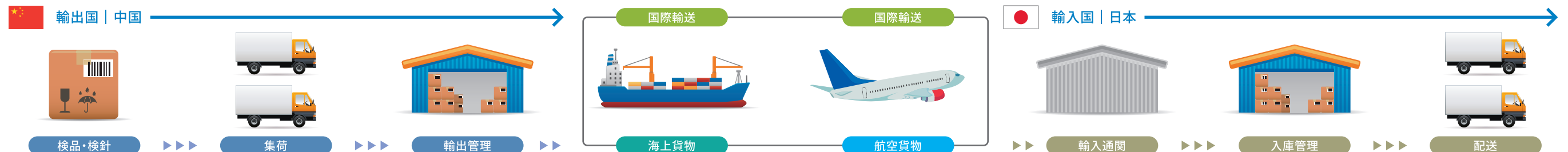


物流請負（3PL）事業の推進

SCM構築による全体最適提案・構築し、コア・コンピタイス（競合他社に徹底した差別化・優位性）を確保してまいります。

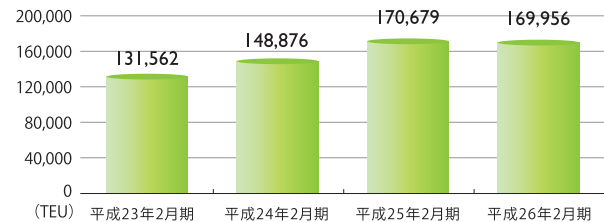
■一貫輸送体制 | 中国、香港及びタイに現地法人を、またベトナムにも拠点を設け、アジア全域をカバー |

◎中国から日本への輸入の場合



■単体受注推移

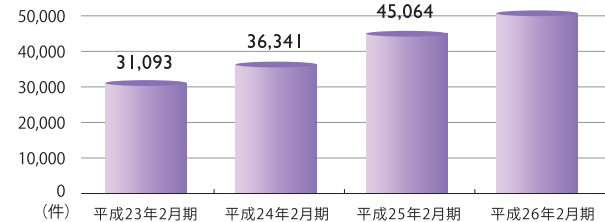
輸送コンテナ推移 | 海上輸送



(注) TEU …… Twenty Foot Equivalent Unitsの略。20フィート・コンテナでの換算。

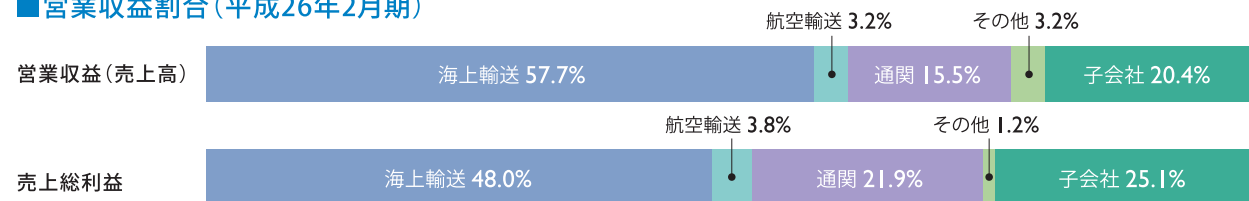
期間当初の急激な円安進行により、第1四半期での取扱高が伸び悩み、その後、新規顧客の獲得等もあり、回復基調で推移したものの、累計期間では、前期を僅かに下回る結果となっています。

通関受注推移



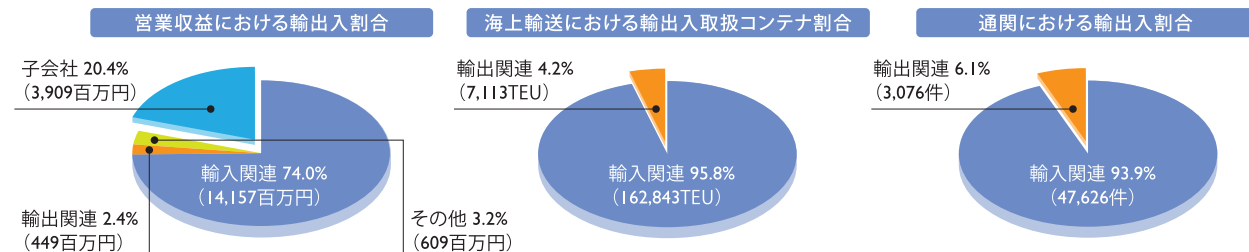
一貫輸送提案の強化から、特に輸入通関の受注が堅調に増加した結果、通関受注件数は輸出入合計で、前期比12.5%増と2ケタの増加率となっています。

■営業収益割合(平成26年2月期)



海上輸送における営業収益は、全体の57.7%を占めるものの、売上総利益では48.0%と構成比は下がります。一方で通関における営業収益は、全体の15.5%であるものの、売上総利益では21.9%と構成比は上昇し、売上総利益率が比較的高い状況です。また、子会社の営業収益及び売上総利益の構成比は、前期末と比較し円安の進行もあり上昇しています。

■営業収益における輸出入割合(平成26年2月期)



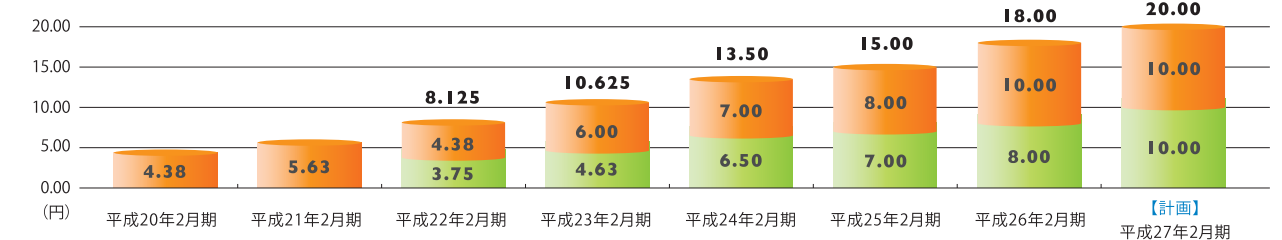
輸入に関わる営業収益の割合が、全体の74.0%と高く、また、取扱コンテナ本数、通関件数においても、その殆どが輸入に係るものとなります。

1 | 本年度(平成26年2月期)も、期末配当を増配いたします

平成26年2月期の期末配当金は、昨年の期末と比べて、1株当たり2円増配の10円00銭と致しました。(平成25年3月1日付、及び同年11月1日付株式分割勘案後)

マザーズ上場以来、6期連続して、年間配当を増やしており、平成27年2月期の1株当たりの配当予想も、中間、期末共に10円00銭、年間で20円00銭を計画しております。

1株当たりの配当額



※1. 平成22年3月1日付けにて1株につき200株、また平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にてそれぞれ1株につき2株の割合をもって株式分割をおこなっています。つきましては、平成26年2月期以前の1株当たりの配当金は、それぞれの株式分割を過年度に遡及して表示しております。 2. 1株当たり年間配当金の棒グラフ内に記載されている金額は、小数点第3位を四捨五入し、表示しております。 3. 平成26年2月末現在1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象に株主優待を開始しています。

2 | 福岡営業所が移転いたします

福岡営業所は、平成18年5月に開設し、順調に取引規模を拡大しています。

今般、手狭になったため、平成26年5月下旬に事務所の移転を予定しております。

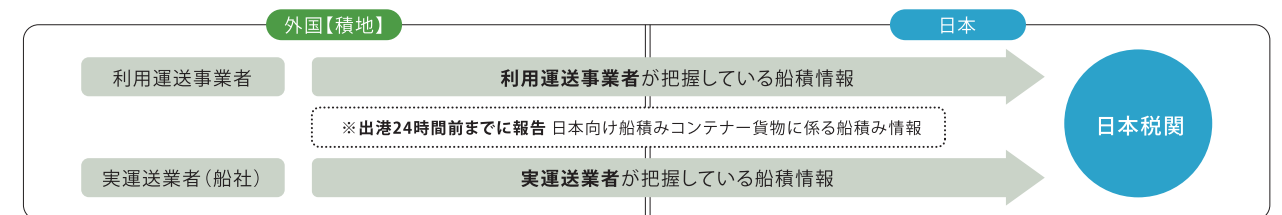


移転先住所
福岡県福岡市博多区博多駅中央街8番27号
TEL.092-433-7560

3 | 出港前報告制度(日本版船積み24時間前ルール)が開始されました

国際物流におけるわが国のセキュリティレベルを国際基準にあわせ、テロ行為や国際組織犯罪を未然に防止することを目的に、平成24年3月に関税定率法等の一部を改正する法律案が国会で可決され、成立いたしました。このため、平成

26年3月から、諸外国から日本向けに船積みされるコンテナ貨物の積荷に関する詳細情報を、当該貨物の積出港で本船出港の24時間前までに、日本の税関に向けて電子報告することが義務付けられました。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 平成25年2月28日現在	当期末 平成26年2月28日現在
流動資産	4,198	1 5,121
固定資産	344	325
資産合計	4,543	5,447
流動負債	1,161	1,232
固定負債	167	203
負債合計	1,329	1,436
純資産合計	3,214	2 4,010
負債純資産合計	4,543	5,447

Point 1

当期末の現金及び預金を中心とした流動資産は、前期末より922百万円増加した結果、資産合計に占める割合は、92.4%から94.0%に上昇しています。

Point 2

当期末での負債純資産合計において、自己資本比率(少数株主持分勘案後)は、73.4%(前期末比3.0ポイント上昇)と高く、財務の健全性の高い経営状態にあります。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで	当期 平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで
営業収益	16,730	3 19,126
売上総利益	3,720	4,318
販売費及び一般管理費	2,443	2,931
営業利益	1,277	4 1,387
経常利益	1,292	1,432
当期純利益	777	903

Point 3

当期の営業収益は、一貫輸送提案の更なる強化による通関受注の増加、3PL(サードパーティー・ロジスティクス)案件の獲得効果、及び円安による為替換算効果も相まって、前年同期と比較し、14.3%増加しました。

Point 4

当期の営業利益は、人員の増加等により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益率の改善効果から、前期同期と比較し、8.6%増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで	当期 平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで
営業活動によるC・F	584	5 633
投資活動によるC・F	△244	△37
財務活動によるC・F	△262	6 △309
現金及び現金同等物に係る換算差額	86	205
現金及び現金同等物の増減額	163	492
現金及び現金同等物の期首残高	1,532	1,696
現金及び現金同等物の期末残高	1,696	2,189

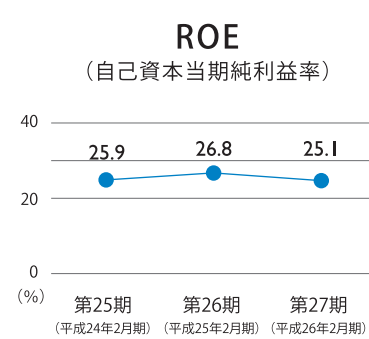
(注)C・F・・・キャッシュフロー

Point 5

当期の営業活動によるキャッシュ・フローのプラスは、主に税金等調整前当期純利益を1,431百万円計上できたことによるものです。

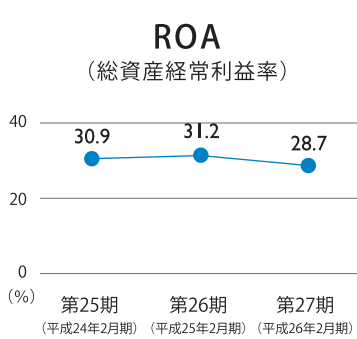
Point 6

当期の財務活動によるキャッシュ・フローのマイナスは、主に配当金の支払によるものです。



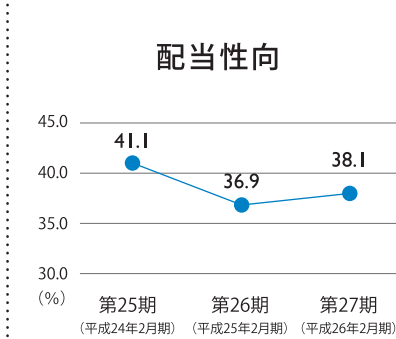
ROE (Return On Equity)

収益性を表す指標。投資家が投資した資本に対してどれだけの当期純利益を創出したかを表しています。



ROA (Return On Assets)

収益性を表す指標。企業がもつ総資産が利益創出に際してどれだけ有効活用されているかを表します。



配当性向

獲得した当期純利益から配当金に支払われる比率で、株主への利益還元率を表します。

会社概要

平成26年2月28日現在

社名	株式会社エーアイティー
英文社名	AIT CORPORATION
本社	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階 TEL.06-6260-3450(代表)
設立	昭和63年2月
資本金	271,140,311円
従業員数	486名(連結)240名(単体)

事業内容

貨物利用運送事業(外航海運)	海運仲立業
貨物利用運送事業(国際航空貨物)	損害保険代理店業
航空運送代理店業	コンテナその他輸送器具の販売並びに輸出入
通関業	上記に付常関連する一切の事業



主な連結子会社

平成26年2月28日現在

会社名	資本金(出資金)	当社の出資比率	所在国	主要な事業内容
愛特(香港)有限公司	1,700千香港ドル	100%	中国(香港)	国際貨物輸送事業
上海愛意特国際物流有限公司	1,340千米ドル	100%	中国	国際貨物輸送事業
AIT LOGISTICS(THAILAND)LIMITED	6,000千バーツ	49%	タイ	国際貨物輸送事業

取締役及び監査役

平成26年5月20日現在

代表取締役社長	矢倉 英一
常務取締役	波床 知喜
常務取締役	馬上 真一
取締役	西村 司
常勤監査役	清水 洋志
社外監査役	寺戸 しのぶ
社外監査役	西島 佳男

株式に関する情報

平成26年2月28日現在

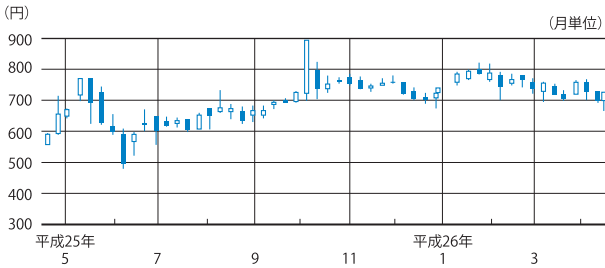
発行可能株式総数 53,856,000株 株主数6,389名
発行済株式の総数 19,754,400株

株主名	持株数	出資比率(%)
株式会社エイチアンドワイ	7,139,600	37.35
馬上 真一	1,000,000	5.23
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT	789,600	4.13
ビービーエイチ ファイデリティ ビューリタン ファイデリティ シリーズ イントリンシツク オボチユニティズ ファンド	720,000	3.77
波床 知喜	540,000	2.83
矢倉 英一	498,400	2.61
株式会社ドルフィンズ	412,000	2.16
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	382,800	2.00
ビービーエイチ グランジャー ビーク インターナショナル オボチユニティーズ ファンド	267,700	1.40
ジェービー モルガン チェース バンク 385604	257,000	1.34

(注1) 上記のほか、自己株式640,768株を保有しております。
(注2) 出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価動向

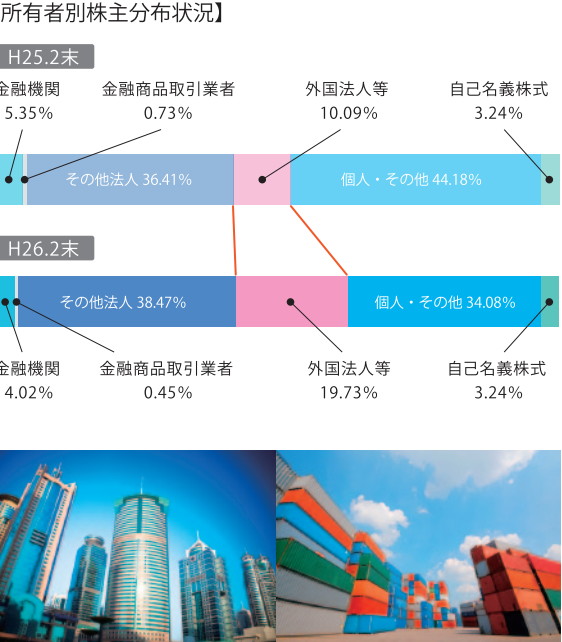
平成26年4月15日現在



(注1) 株価動向は月単位で表示しています。
(注2) 平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にて、それぞれ1株を2株に株式分割しておりますが、株価につきましては、当該株式分割を過年度に遡及して調整したものを使用しております。

株式分布状況

平成26年2月28日現在



配当利回り・PER・PBR

平成26年4月15日現在

	配当利回り	PER	PBR
当社	2.60%	14.61	3.30
東証1部平均	1.65%	22.96	1.27

※当社の配当利回り、PER、PBRは実績ベース、株価は4月15日現在。
東証1部平均は、日本経済新聞よりPER、PBRは前期基準ベース、配当利回りは前期基準で単純平均(朝刊・4月16日)

PER | 株価収益率(株価÷1株当たり利益)
PBR | 株価純資産倍率(株価÷1株当たり純資産)